

会社概要

(2016年6月20日現在)

社名 太洋工業株式会社
 設立 1960年12月
 代表者 代表取締役社長 細江 美則
 資本金 793,255,000円
 従業員 274名(連結ベース)
 関連グループ会社 株式会社ミラック
 TAIYO TECHNOLEX (THAILAND) CO., LTD.
 マイクロエンジニアリング株式会社
 太友(上海)貿易有限公司

事業所

本社・工場 〒640-8390 和歌山市有本661番地
 東京事業所 〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目3番3号
 九段下東急真サクラビル7F
 九州事業所 〒873-0231 大分県国東市安岐町下原384-20
 台北駐在員事務所 台北市大安区忠孝東路四段221號12樓

株主メモ

事業年度 毎年12月21日から翌年12月20日まで
 期末配当金受領株主確定日 毎年12月20日
 中間配当金受領株主確定日 毎年 6月20日
 定時株主総会 毎年 3月20日まで
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL(0120)094-777(通話料無料)
 同連絡先 東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
 (証券コード6663)
 公告の方法 電子公告により行います。
 公告掲載URL
<http://www.taiyo-xelcom.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式の状況

(2016年6月20日現在)

発行可能株式総数 ----- 23,280,000株
 発行済株式の総数 ----- 5,850,000株
 株主数 ----- 1,972名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社細江ホールディングス	1,600	27.4
細江 美則	700	12.0
細江 正大	480	8.2
太洋工業従業員持株会	331	5.7
株式会社紀陽銀行	290	5.0
紀陽興産株式会社	240	4.1
紀陽リース・キャピタル株式会社	150	2.6
小川 由晃	113	1.9
旭東電気株式会社	102	1.8
日本証券金融株式会社	72	1.2

(注) 持株数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示、また持株比率は、自己株式を控除して計算しており、小数第二位を四捨五入して表示しています。

ホームページのご案内

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っておりますのでぜひご覧ください。

<http://www.taiyo-xelcom.co.jp/>



IRページをご活用ください。
 事業の紹介、当社の強み、業績の推移、配当政策について解説しています。



TAIYO INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒640-8390 和歌山市有本661番地
 TEL(073)431-6311(代) FAX(073)432-5469



株主のみなさまへ

第56期 株主通信

2015年12月21日 > 2016年6月20日

第2四半期

TAIYO 太洋工業株式会社

証券コード：6663



ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、FPC試作及び外観検査機の受注が計画どおり進捗しなかった影響により、売上総利益率が当初予想を下回ったことから、第2四半期の業績予想の修正に至りました。通期の業績予想につきましては、当初の計画数値は達成可能であると判断しており据え置くことといたしました。

第3四半期以降につきましては、国内外の市場に対しFPCの極薄化など次世代技術力をアピールすることで、医療機器や車載機器向けをはじめとする新規顧客開拓を進め、高い収益性が見込める高難度製品の受注体制の充実・強化に注力するとともに、製造部門における外注加工費の見直し等、より一層の原価削減を図ってまいります。

株主の皆様には、今後とも当社グループの事業活動にご期待いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

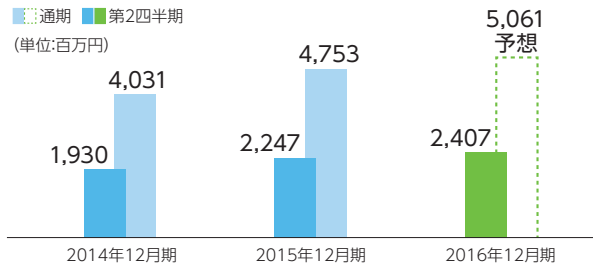
代表取締役社長

細江 美則

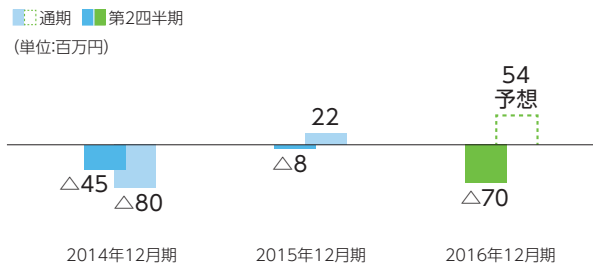
報告セグメントの変更等について

「産機システム事業」については、「商社事業」に名称変更しております。また、「その他」に含まれていた商社事業のうち主にFPCに関する事業及びエレクトロフォーミング事業については「電子基板事業」に、商社事業のうち主に基板検査機に関する事業については「基板検査機事業」に含めて記載する方法に変更しております。

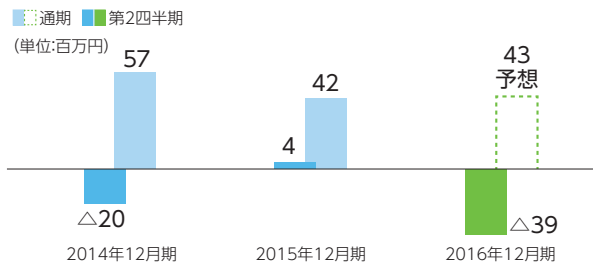
売上高



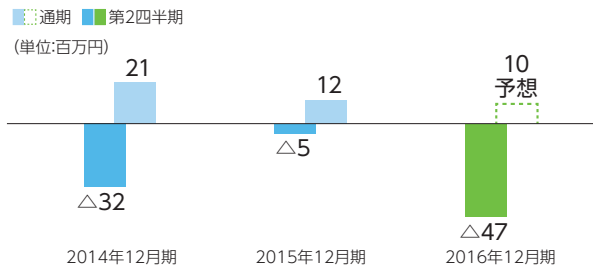
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



2016年12月期 第2四半期業績

Point 1

売上高は前年同四半期比7.1%増となりました。

- 基板検査機事業における、FPCを対象とした通電検査機及び外観検査機の売上増加
- 商社事業における、液晶モジュール検査システム等の売上増加

Point 2

損益は損失計上となりました。

- 電子基板事業における売上原価率の上昇
- 検査システム事業における売上高減少に伴う売上総利益の減少
- 基板検査機事業における販売手数料の増加

TOPICS

テキスタイルFPCについて

当社が2016年2月に発表しましたテキスタイルFPCは、FPCの製造工程において、市販の化学繊維製テキスタイル(布)上に金属回路の形成を可能としたもので、近年、ウェアラブル端末が注目を集める中、人体に装着して生体情報を取得するスマートウェア用途を想定し開発しました。各企業はウェアラブル端末を活用したアプリケーションの創出を様々な角度から模索しております。当社はテキスタイルFPCに対する伸縮性や高耐熱性ニーズに対応するとともに、更なる用途開発に取り組んでおります。



布上に金属回路を形成して、LEDを点灯させた例